

# 台風第15号による屋根等の被害への対応について

## 1. 支援制度

各種制度を活用して全てに切れ目なく支援

### 【全壊(半壊で解体)】

被災者生活再建支援金 : 300万円  
(全壊・建設、半壊解体・建設)

### 【大規模半壊】

被災者生活再建支援金 : 150万円  
(大規模半壊・補修)

応急修理(災害救助法) : 58.4万円以内

### 【半壊】

応急修理(災害救助法) : 58.4万円以内

### 【一部損壊】

防災・安全交付金

(参考) 鶴岡市瓦屋根修繕緊急支援事業の概要

- ・対象 : 被災した住宅の瓦屋根の修繕・改修工事
- ・補助金額 : 40万円以内

## 2. 被害認定調査の弾力的運用

- ・台風後の降雨被害も加味して判定
- ・被害面積の判断も柔軟に対応

✓ 屋根等の大部分に被害 ⇒ 概ね「全壊」  
「大規模半壊」

✓ 屋根等から屋内浸水があるような被害 ⇒ 概ね「半壊」

- ・内閣府(防災)の職員を派遣し、調査方法等の周知を徹底

## 3. 被害認定調査の実施体制

- ・調査の実施体制(9月22日時点)  
活動中: 318人(応援職員を含む)
- ・館山市、南房総市等は、国で必要な応援職員の数を試算し、被災自治体と調整の上、**プッシュ型で応援職員を投入**

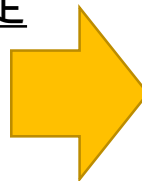
概ね発災1ヶ月程度(10月11日)を目標に、調査を迅速に実施

# 令和元年台風第15号における被害認定調査の実施について

## 住家の被害認定調査の弾力的運用について

(9月20日に事務連絡を通知済み)

- ① 台風による被害に、降雨による被害も加味して判定
- ② 屋根、天井等の損傷面積率を柔軟に判断  
(損傷部分の周辺の状態も考慮)
- ③ **内閣府(防災)の職員を派遣し、調査方法等の周知を徹底**









**被害の実態を十分に加味して  
評価を実施**

## 被害程度のイメージ

(被害認定基準運用指針に基づき調査を実施すれば、概ね以下のような被害の程度となる)

前提: 2階建て住家。(平屋住家で同様の被害が出ている場合には、さらに損害の程度が高くなる。)

瓦屋根等に被害はあるが、雨漏りなし など	瓦屋根等に相当程度の被害があり、屋内が雨水で浸水 など	瓦屋根等の大部分に被害 など
<p>&lt;被害程度のイメージ&gt;</p>  <p>軽微な衝突痕等</p>  <p>棟瓦の破損等</p> <p><b>概ね「一部損壊」</b></p>	 <p>衝突痕、貫通痕等</p>  <p>壁クロスの剥離等</p> <p><b>概ね「半壊」</b></p>	 <p>葺材の大部分損傷</p>  <p>仕上げ材の脱落</p> <p><b>概ね「大規模半壊」又は「全壊」</b></p>